

令和4年第7回水俣市教育委員会定例会会議録

開催日	令和4年7月15日(金)		
場所	水俣市役所4階第2及び第3委員会室		
会議種類	定例会		
出席委員	平尾 雅述	委員	
	堀 浄信	委員	
	山田 誠次	委員	
	本田 恵津子	委員	
教育長	小島 泰治		
欠席委員	なし		
事務局出席者	設楽 聡	教育課長	
	榮永 哲久	教育課学校教育室長	
	草野 徹也	教育課生涯学習室長	
	森 安広	教育課指導主事	
	田上 朋史	教育課学校教育室次長	
	森山 結	教育課学校教育室主事	
署名者	平尾 雅述	委員	
	堀 浄信	委員	
	山田 誠次	委員	
	本田 恵津子	委員	
	小島 泰治	教育長	
傍聴者	無		
開会宣言	午後1時30分		
<p>1 非公開とする審議事項</p> <p>1) 議第1号及び協議第2号を非公開とすることについて 学校教育室</p> <p>2 報告</p> <p>1) 教育長報告</p> <p>2) 報告事項</p> <p>① 中学生の「税についての作文」に係る後援承認について 学校教育室</p> <p>② 熊本県小学校教育研究会体育部会第43回夏季研修会に係る後援承認について 学校教育室</p> <p>③ 水俣市働き方改革推進委員会設置要綱の制定について 学校教育室</p> <p>④ 水俣市立小中学校における学校保健特別対策事業助成金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について 学校教育室</p> <p>⑤ 第67回熊本母親大会に係る名義後援について 生涯学習室</p> <p>⑥ 火のまつりに係る後援承認について 生涯学習室</p> <p>3 議事</p> <p>1) 審議事項</p>			

① 水俣市教育委員会重要政策事業に係る点検評価委員の委嘱について	学校教育室
② 令和4年度ひきこもり支援研修会に係る後援承認について	学校教育室
③ 2022年度書き損じハガキ回収プログラムに係る後援承認について	学校教育室
④ 第34回句碑まつり水俣川柳大会に係る後援承認について	生涯学習室
⑤ 第16回蘇峰先生顕彰会に係る共催承認について	生涯学習室
⑥ 第30回亀嶺旗争奪少年剣道大会に係る後援承認について	学校教育室
⑦ 熊本学園大学水俣学研究センター第19期公開講座に係る名義後援について	学校教育室
2) 協議事項	
① 令和4年8月の教育委員会定例会の開催日程について	学校教育室
② 学校教育活動の現状について	学校教育室
4 その他	
1) 令和4年8月の行事予定について	学校教育室
1 非公開とする審議事項	

【案件】	議第1号及び協議第2号を非公開とすることについて
【説明】 榮永 哲久 学校教育室長	個人情報等を含むため、議第1号及び協議第2号は非公開を提案します。
各委員	はい。
【採決】	承認
2 報告	
1) 教育長報告	
小島 泰治教育長	<p>皆さんこんにちは。7月も中旬となり、1学期も残りわずかとなりました。今年は、梅雨明けが早く大雨に悩まされなくてもよいかと思っていましたが、今日は、明け方から大雨で明日にかけて降るとの予報となっています。小中学校関係では、今のところ大きな被害はありませんが、湯出小学校が登校を遅らせて3時間目からの開始となっています。とにかく被害が少なければと思っています。</p> <p>今回は、3点報告します。</p> <p>1点目は、芦北水俣郡市中学校総合体育大会の成績についてです。</p> <p>6月の教育委員会で、途中までお知らせしましたが、全種目の結果が分かりましたので、一覧表を配っています。後ほどご覧ください。</p> <p>なお、県大会は、ほとんどの種目が明日から始まりますが、新体操は、7月8日（金）に実施されまして、水俣一中男子が優勝しています。県内に</p>

	<p>は、佐敷中と水俣一中しかなく、水俣芦北大会では、佐敷中が優勝でしたが、県大会では、水俣一中が優勝となっています。</p> <p>2点目は、夏休みの期間についてです。</p> <p>本年度は、2学期の始業式を授業時数確保のため8月29日(月)としています。ただ、管理規則では、9月1日から2学期となっており、改正はしていません。2学期の始業式をいつにするかは、しばらく様子を見なければいけないと思っています。そのたびに管理規則を変えるわけにはいきませんので、落ち着いてから管理規則を改正したいと思っています。それまでは、規則で校長が委員会の承認を得れば学期を変更できるとしていますので、全校長から学期変更承認願を出していただくという運用していきます。</p> <p>なお、本年度は、8月11日～15日を閉庁とします。</p> <p>3点目は、コロナの状況についてです。</p> <p>陽性者については、水俣市でも増加傾向にあります。市内の小中学校においても増加傾向にあります。ただ、学級内や職員室内での広がりは見られず、現在、学級閉鎖をしているところはありません。このまま、何とか夏休みまで持ちこたえてくれればと思っています。</p> <p>報告は以上です。何か質問はございますか。</p>
堀 浄信委員	<p>オリーブの木では、コロナ関係での見守り強化事業を実施しています。これまでは、陽性者に対しては行政から生活必需品の配布がありましたが、濃厚接触者が自宅待機する際にはありませんでした。それを、無料で提供できるという事業ですが、個人情報保護の関係で各関係機関と上手く連携できていない部分があります。今は問い合わせがあったら配布している状況ですので、各学校にもぜひお知らせいただきたいと思います。</p> <p>オリーブの木で配布することができますので、周知のほどよろしくお願ひします。</p>
小島 泰治教育長	<p>オリーブの木に電話して、濃厚接触者になった旨を伝えればよいということですね。ちなみに、受取りに際しての制約はありませんか。例えば大人でも受け取れるのかなど。</p>
堀 浄信委員	<p>18歳までの子どもさんがいらっしゃる世帯であれば制約はありませんので、ご利用いただければと思います。大人だけの世帯であれば対象にはなりません。</p>
小島 泰治教育長	<p>学校から周知するのもいいと思いますが、コロナ対策ですので保健所から周知してもらおうのはどうですか。</p>
堀 浄信委員	<p>保健所にもお伝えをしております。対象となった方には、ぜひ利用してほしいと思います。</p>
2) 報告事項	
報告第1号	中学生の「税についての作文」に係る後援承認について
榮永 哲久 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
報告第2号	熊本県小学校教育研究会体育部会第43回夏季研修会に係る後援承認について
榮永 哲久	(配布資料をもとに説明)

学校教育室長	学校教育室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
報告第3号	水俣市働き方改革推進委員会設置要綱の制定について
榮永 哲久 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
報告第4号	水俣市立小中学校における学校保健特別対策事業助成金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
榮永 哲久 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
平尾 雅述委員	この事業は、昨年度も実施されましたか。
榮永 哲久 学校教育室長	実施されております。
平尾 雅述委員	使い道はどのような感じでしたか。
榮永 哲久 学校教育室長	感染症対策に資する備品や消耗品等として、距離を確保するための大型のモニターやヘッドセット、消毒液、ハンドソープなどです。
報告第5号	第67回熊本母親大会に係る名義後援について
草野 徹也 生涯学習室長	(配布資料をもとに説明) 生涯学習室
小島 泰治教育長	この件は、水俣市教育委員会の後援要項に基づき判断を行いました。まず、市民対象の事業ではなく、後援対象団体として定める5項目にも該当せず、それ以外の特に教育委員会が必要と認める事例にも該当するものではないため、不承認とさせていただきました。
堀 浄信委員	この件は、不承認で問題ないと思いますが、それ以前に母親大会というネーミングに違和感を覚えなければいけない時代になってきたのかなと思います。ジェンダーの問題への配慮など、考えることがあるのかなと思いました。
報告第6号	火のまつりに係る後援承認について
草野 徹也 生涯学習室長	(配布資料をもとに説明) 生涯学習室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。

3 議事	
1) 審議事項	
議第1号	水俣市教育委員会重要政策事業に係る点検評価委員の委嘱について
榮永 哲久 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
	《非公開》
議第2号	令和4年度ひきこもり支援研修会に係る後援承認について
榮永 哲久 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
【採決】	承認
議第3号	2022年度書き損じハガキ回収プログラムに係る後援承認について
榮永 哲久 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
【採決】	承認
議第4号	第34回句碑まつり水俣川柳大会に係る後援承認について
草野 徹也 生涯学習室長	(配布資料をもとに説明) 生涯学習室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
【採決】	承認
議第5号	第16回蘇峰先生顕彰会に係る共催承認について
草野 徹也 生涯学習室長	(配布資料をもとに説明) 生涯学習室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
【採決】	承認
議第6号	第30回亀嶺旗争奪少年剣道大会に係る後援承認について
榮永 哲久 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。

各委員	なし。
【採決】	承認
議第7号	熊本学園大学水俣学研究センター第19期公開講座に係る名義後援について
草野 徹也 生涯学習室長	(配布資料をもとに説明) 生涯学習室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
堀 浄信委員	事務局としてはどのような見解ですか。
小島 泰治教育長	<p>教育委員会の後援要項を見ていただきたいのですが、まず、熊本学園大学水俣学研究センターからの申請ということで、後援の対象団体としては、第3条第1項第5号に該当します。ただ、承認の条件として、第3条冒頭に記載されている市民を対象とする教育、芸術・文化、体育及びレクリエーションの振興に寄与するということになったときに、そこに該当するのかどうかですね。</p> <p>その上の第2条第1項第3号には教育委員会が事業の企画及び実施について推奨し、援助することとありますが、今回のテーマが教育委員会として推奨できるものなのかという部分で、悩ましいところです。</p> <p>ちなみに、市長部局に対しても名義後援申請がなされているようですが、市長部局の後援規定では、賛否の分かれる議論があり市民や国民の評価の定まっていない問題を取り扱っているものについては承認しない、とされています。</p> <p>教育委員会としても、まだ賛否が定まっていないテーマについて、それを教育、芸術・文化、体育及びレクリエーションの振興に寄与するとは言えないのかなと思います。</p> <p>ちなみに、昨年度は、同じく熊本学園大学水俣学研究センターからの公開講座に係る名義後援の申請でしたが、テーマがコロナでしたので承認しました。今回はテーマとして疑義があるため、皆様のご意見を頂ければと思います。</p>
山田 誠次委員	私は事業名称が気になりました。市民の間で賛否が分かれている事業に関するのを、あえて講座名の副題に設定しているので、教育委員会としての推奨は難しいですね。講座を開催されること自体は自由ですが、それを教育委員会が後援するのは違うような気がします。
堀 浄信委員	これは、風力発電施設建設に反対するための講座ということなんですか。
小島 泰治教育長	そこは明確になっているか分かりませんが、本文中に大雨による土砂災害のリスク、低周波による健康被害、生態系への悪影響などという文言があります。とにかく教育委員会としては、賛否が分かれている時点で難しいところです。
堀 浄信委員	そうですね、私も山田委員と同意見です。
平尾 雅述委員	私も、意見が分かれているのと、チラシ中の水俣等住民団体というのも気になります。課題がある中における偏った考え方を教育委員会が推奨するのはよくないと思います。あくまでも教育委員会は中立であるべきです。
本田 恵津子委員	私もそう思います。賛否が分かれるような議論の最中のテーマを教育委員会が後援することは難しいですね。
小島 泰治教育長	それでは、賛否の分かれるテーマであり、教育委員会としての後援は難しいということで不承認としてよろしいですか。

各委員	はい。
【採決】	不承認
2) 協議事項	
協議第1号	令和4年8月の教育委員会定例会の開催日程について
榮永 哲久 学校教育室長	(配布資料をもとに説明) 学校教育室
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
協議第2号	学校教育活動の現状について
森 安広 教育課指導主事	(報告の概要) ① 6月の小中学校長期欠席児童生徒報告について ② 6月の児童生徒事故・非行報告について ③ その他
	《非公開》
4 その他	
1)	令和4年8月の行事予定について
森 安広 教育課指導主事	(配布資料をもとに説明) 教育委員会
小島 泰治教育長	何か質問はございますか。
各委員	なし。
2)	その他
小島 泰治教育長	本日の議題は以上になりますが、その他に何かございせんか。
山田 誠次委員	<p>現在、小学生のある保護者から、悩みの相談を受けました。保育園では、クラス作りではなく、一人一人の園児にとって居心地のいい場所を提供するようにしていますが、学校に入るとクラス作りも大事になってきます。</p> <p>今回相談を受けた生徒は、家庭環境にやや恵まれない部分があり、体が大きく、言葉は苦手という感じですが、今の世の中は、言葉で伝えることが大事です。子どもたちが、それぞれどれくらい言葉の力を持っているか、外見だけに見ただけでは分かりません。その辺を見極めるには、相当な時間をかけて子どもたちを見ていかないと分からないと思います。</p> <p>体格で受ける印象が先行してしまっていて、言葉で伝えることが苦手な子どもたちが不利な状況に追い込まれる傾向があります。</p> <p>その子がどれくらい言葉で表現する力があるのか、その辺を、子どもに接する側である大人が理解して配慮できる世の中になっていかないと、そういう子どもたちには厳しいのかなと思います。早く言いなさい、ちゃんと言わなきゃダメ、みたいな感じでは、そのような子どもたちがどんどん肩身が狭い思いをしていくことになると思います。</p> <p>100mが30秒でしか走れない子に15秒で走れとは誰も言わないと思</p>

	<p>います。それは見ればすぐに分かるからです。しかし、言葉の能力については、見ただけでは分からないから、その辺を配慮しながら接してもらいたいと思います。</p>
小島 泰治教育長	<p>折に触れて、各学校に対してもそのような話を行いたいと思います。</p>
堀 浄信委員	<p>今の山田委員のお話は、大変感銘を受けました。 本日、いろいろな講演会のいい話を集めた日本講演新聞という資料を持参しましたので、説明させてください。 (資料説明) 私も児童養護施設に携わり、子どもたちの支援を行っていますが、どうしても周りの目が気になり、集団を何とかしなければということがあります。子どもたちは敏感で、先生方が自分のためを思って言ってくれているのか、それとも周りの目を気にして言っているのか、すぐ見抜いてしまいます。本当に大事な命の大切さを理解してほしいし、学校は行かせるのが目的ではなく、学校教育法にある人格の完成が目標なので、たまたま寄り道して学校に行けない時期があってもいいだろうし、その子に応じた教育を行う時期に来ているのではないかと思います。 同調圧力が子どもたちも先生も苦しめているので、そろそろ変わっていかねばいけません。学校に行きたいけど行けない子どもたちです。私たち大人がどこに向かって、どうしたいのかという共通認識が必要です。 私は福祉に身を置く立場として、教育という言葉が嫌いです。外国では教育という言葉は使いません。E d u c a t i o nは引き出す、という意味です。個々の力を引き出すのが学校の役割です。どうしても学校の先生方は集団をここまで引っ張り上げようとされますが、既に頑張っている子にこれ以上のムチを打つ必要はないと思います。 命からがらやってきた子どもたちを目の前にしているからこそ、伝え続けたいと考えています。 先生方も不幸にならないように、個別化が大事になりますね。</p>
山田 誠次委員	<p>様々な場面において、今後ますます、プレゼンテーションの重要性が高まっていくと思いますので、私の保育園でも人前で発表することの抵抗感をなくすような経験をさせてから小学校に送り出しています。 発表だけでなく、議論や意見の出し合いの場においても、言葉の力が弱い子は、言葉の力が強い子に引っ張られてしまうのは仕方ない部分がありますが、それを見守る大人の配慮で救われる部分があると思います。</p>
本田 恵津子委員	<p>今の世の中は、ただ学校に行かなければならないではなく、様々な選択肢があると思います。人と会わなくても、パソコンの中で人間関係ができたりできる時代です。私も学校は行った方がいいんじゃないかと思っていましたが、行きたくてもいけない子もいます。友達ができることが、学校生活を楽しく過ごす一番の方法だと思いますので、先生は勉強を教えることも仕事ですが、生徒たちが人間関係を築いていくサポートを行うことも行っていただきたいと思います。 いじめの事案についても、本来は、生徒同士が解決し、大人は見守るだけが望ましいと思います。</p>
平尾 雅述委員	<p>学校に何十年もいた立場として思うことは、学校では学業と友達関係、そして上下関係などを学ぶことはできます。しかし、多様な部分もあるので、学ぶことは学校だけではないということもあるかなと思います。大切なのは、学校に通わないことをマイナスと捉えないような配慮ですね。</p>
山田 誠次委員	<p>そうは言っても、頑張っておかないと、将来、何ともならないということもありますよね。その辺は世の中自体が変わらないとどうにもなりません。が、幼児教育も含めて今の教育は、全員に対し、芸術家や社長などの一流を</p>

	<p>目指すような駆り立て方で教育を行っているように感じます。みんな、才能を伸ばそう、個性を伸ばそうと。でも、普通に生きていくことはダメなんですかと言いたいですね。みんなが肩身の狭い思いをしなくてもいいような世の中になってほしいです。もちろん、頑張った人が先に行くのはいいですけど、頑張れなかった人も生きていけるような、今が幸せだと、心の底から思えるような、そんな世の中であってほしいと思います。</p> <p>世界との競争に勝てとか煽り立てられることもあるようですが、学校教育はそれだけではないですよ。幸せの形は人それぞれです。</p>
堀 浄信委員	<p>みなさん、「しあわせ」という漢字は、どう書かれますか。「幸」が国語辞典に入ってきたのは最近のことで、今までは「仕合わせ」でした。「幸」のしあわせは、もっともっとという欲望、煩惱の意味があるそうです。一方で「仕合わせ」の方は、今の巡り合いのご縁を喜ぶことという意味があるようです。日本人は同調圧力、みんな同じでなければ幸せになれないという感じで頑張ろうとしています。先ほどの山田委員の話と共通する部分があるのかなと思いました。今ある幸せを喜び、幸せだから感謝するのではなく、感謝するから幸せなんだということ子どもたちにも伝えられたらと思います。</p>
平尾 雅述委員	<p>違う話になりますが、私が校長をしているときに、サッカーに関して、社会体育に所属する生徒と学校の部活動に所属する生徒では考え方が違うことがありました。社会体育の生徒は、試合の時は学校を休んで参加してもいいという感じでしたが、本当にそれでいいのか悩みました。生徒だけではなく保護者もそのような考えだったと思います。</p> <p>中学校の部活動がこれから社会体育に移行していきますが、その過程で大切なものが失われて行かないか心配しています。でも、絶対にいい方向にもっていかないといけないので、プロになると言って頑張る子がいる一方で、学校生活の大事な部分がすっぽ抜けにならないようにしてほしいです。</p>
閉会宣言	午後 2 時 4 5 分